



特定非営利活動法人 CRASEED

リハビリテーション医療推進機構

CRASEED NEWS

1

Organization for Clinical Rehabilitation with Advanced Science and Effective Education

発行：NPO 法人 リハビリテーション医療推進機構 CRASEED / 年 4 回発行 / 第 1 号 (2006 年 1 月 30 日発行)
〒 560-0054 大阪府豊中市桜の町 3-11-1 関西リハビリテーション病院内 TEL 06-6857-9640 URL : www.craseed.org



CRASEED は人材育成と啓発活動を通して リハビリテーション医療の質の向上をめざします

CRASEED 代表 道免 和久

(兵庫医科大学リハビリテーション医学教室)

皆さん、いよいよ日本初のリハビリテーション医療推進のための NPO が始動します。

これまで各界の多くの皆さんのご努力により、「リハビリテーション」という言葉は、広く社会に浸透しました。今後、介護、福祉分野ではリハビリテーションのさらなる発展が期待されます。

では、「医療」としてのリハビリテーションはどうでしょうか？

人口が減少し始め、超高齢化社会に突入した今、あちこちにリハビリテーション科の看板を掲げる病院を見かけるようになりました。療法士の養成校は、乱立と言っても良いほど次々に開校し、療法士の数も増加する一方です。回復期リハビリテーション病棟も増え続けています。しかし、本当に国民はリハビリテーション医療の恩恵を享受しているのでしょうか？ 今、脳卒中などで倒れても、きちんとしたリハビリテーション医療を受けられる安心な世の中になったのでしょうか？

残念ながら、答えは No です。

私は、日本のリハビリテーションの危機的状況は、「医療」としての認識不足だと思います。リハビリテーションは「お世話」とか「マッサージのようなもの」という認識が、医師の間にすら残っています。「医療」としての質の保証がない状況、中身がなく表面上の数ばかり増えている状況を、私は「リハビリバブル」と呼んでいます。

質の高いリハビリテーション医療の力をもっと信じるべきです。リハビリテーションを実施しているからこそ、生命を維持できている急性期の病院の患者さんを多く拝見します。リハビリテーションを実施することが、手術後の廃用症候群から回復させ、家に帰れるための唯一の手段という患者さんが沢山います。慢性期の病院で、「そろそろリハビリでもやろうか」という古い認識はもう捨てましょう。Medical Rehabilitation は、急性期病院において開花しようとしています。すでに定評のある回復期リハビリテーションでは、質の高い医療を実施する病院と、そうでない病院の二極分化が起きています。さらに、慢性期においては、器械によるパワーリハビリテーションではなく、個々の患者さんに医学的に必要な訓練法を考えることが、最良の介護予防になると思います。

そのような医療を推進する主役は、優秀なリハビリテーション科専門医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーション看護師、臨床心理士等の各専門職であると考えてい

ます。そのような人達を育成し、患者さん・御家族・市民とともに、リハビリテーション医療を推進するための組織、それが NPO 法人リハビリテーション医療推進機構 CRASEED (Non-Profit Organization for Clinical Rehabilitation with Advanced Science and Effective Education) なのです。

CRASEED は兵庫医科大学リハビリテーション医学教室を基盤にはしていますが、医局組織ではありません。代表理事には私、道免が就任し、副代表は国立国際医療センターの藤谷順子さんが買って出てくださいました。その他、リハビリ科医、理学療法士、作業療法士等が理事に就任しています。すでに、会員には、各療法士、看護師、病院経営者等が登録し、さらに患者さんの御家族も入会しています。そして、メーリングリスト<CRASEED ラウンジ>を通して、情報や意見の交換を実施しています。CRASEED セミナー、CRASEED フォーラム、電話相談、CRASEED パンフレットの作成、ホームページの開設など活動を開始しております。

将来的には CRASEED の理念を共有する質の高いリハビリテーション専門病院が全国に多数設立され、そこに CRASEED 会員の医師、療法士、看護師等に働いていただくことにより、真に効果的で、真に患者さんの QOL を高めるための Medical Rehabilitation を担えるようにしたいと考えております。

皆様、CRASEED をどうぞ応援してください。何卒、よろしく願います。

目次

- ㊦ 1... 創立の辞
- ㊦ 2... 第 1 回セミナー報告
- ㊦ 2... メンバーのお仕事紹介：CI 療法
- ㊦ 3... 病院紹介：関西リハビリテーション病院
- ㊦ 3... リハ職種紹介：作業療法
- ㊦ 4... 書籍紹介、会員募集、ロゴの紹介、講演会案内

CRASEED 第1回セミナー報告

CRASEED初のセミナーが2005年7月23日、24日に大阪にて開催されました。会場は7月1日にオープンしたばかりの関西リハビリテーション病院でした。

テーマは「急性期から回復期への脳卒中ナースングセミナー」とし、看護師さんを主に対象とした研修会としました。95名の方々に参加していただき、熱気あふれる研修会となりました。当初参加者は看護師さんを中心として考えていましたが、今回出席して下さった方々は看護師・医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、MSWなどさまざまでした。高齢化社会を迎える我が国にとっていかに脳卒中に対するリハが注目されているかを実感しました。また、私たちの「リハビリテーション医療推進機構」にふさわしく多職種が一体となって課題に取り組むスタイルが早くも実践されるセミナーとなりました。

プログラムとしては1日目午前にはCRASEED代表である道免和久氏（兵庫医科大学リハ部教授）より「総論」、佐野恭子氏（大阪第二警察病院リハ科OT課長）より「意欲を引き出すための看護とは？」、午後には東洋子氏（当時関西リハ病院看護師長）より「急性



講演の様子（左：道免氏、右：金城氏）



期看護」、金城利雄氏（広島大学大学院保健学研究科教授）より「回復期看護」、西山静香氏と左圓恵子氏（兵庫医科大学篠山病院看護師長）より「療養型での回復期看護」といったテーマで講演がありました。朝からの講義でしたが、皆さん熱心に聞き入っておられました。

2日目は眞淵敏氏（兵庫医科大学リハ部主任理学療法士）より「介護法」の実習、CRASEED副代表・藤谷順子氏（国立国際医療センターリハ科）より「嚥下と排尿の病棟リハ」のテーマで実演つきの講義がありました。休憩時には規模・内容で全国でも有数のリハ病院である関西リハ病院の施設見学もあり、多くの希望者の方々が熱心に施設を見学されていました。施設が新しいこともさることながら、リハを中心に計画した斬新な施設の設計に皆さん驚いておられました。最後には皆さんからアンケート方式でいただいた質問に個別に回答させていただ



関西リハビリテーション病院の施設

きました。多様な質問があり、主催者側としても勉強になる部分がありました。

2006年度にも同様のテーマでさらにバージョンアップを施したものを企画しております。看護師さん以外の職種の方の出席も今回多数おられましたので、次回からはその方々のご要望にもお応えできるようモディファイした内容を計画していく予定です。そのほかにテーマを絞った研修会も計画中です。ご期待ください。（宮越浩一）



メンバーのお仕事紹介

吉

CI療法とは、Constraint induced movement therapyの頭文字をとったものです。脳卒中で麻痺した上肢を訓練するために、健常な腕を三角巾や軍手などで固定して使えないようにした上で、1日5時間もの長時間の訓練を2週間前後行います。ある程度の動きのある、不全麻痺の方に適応が限られますが、従来の普及している訓練方法・量では改善しなかった上肢や手指の麻

「CI療法」 (麻痺側上肢集中訓練プログラム)

痺の回復を得ることが可能です。これは大脳の可塑性（脳細胞の機能の柔軟性）を利用した訓練で、欧米ではすでにスタンダードな方法ですが、わが国で多数の症例に保険医療で行っているのは兵庫医大と篠山医療センターだけです。（佐野恭子理事の転勤先である警察病院や、他のメンバーのいる病院にひろがりつつあります）

全ての麻痺が治る訓練ではなく、

また、専門家による訓練種目の選定、長時間の訓練を行う持久力・忍耐力などが必要ですが、適応となる患者さまはまだまだたくさんいらっしゃると思われ、私たちはこの治療法をさらに研究・普及していきたいと考えています。この兵庫医大のCI療法は2005年6月13日読売新聞（東京本社版）＜最新医療＞欄で紹介されました。

（藤谷順子）



病院
紹介

関西リハビリテーション病院



2005年7月に開院いたしました。大阪府の北部、豊中市にあるリハ病院です。開設したばかりで、試行錯誤の毎日ではありますが、当院の目指すところ、ならびに特徴を紹介いたします。



1. リハビリテーション医療に特化

144床全床リハビリテーション病床で、現在、担当する主治医は全員、リハビリテーション医です。

対象疾患は7～8割が脳血管障害ですが、他は外傷性脳損傷、脊椎脊髄疾患、神経筋疾患などさまざまな疾患に加え、術後や肺炎後の廃用症候群に対してリハビリテーションを施行しています。

シストメトリー、筋電図、脳波、嚥下造影、各種エコーなどリハビリテーション医療に必要な検査、評価が院内で可能であり、リハビリ科と歯科のみの病院でありながら治療の幅は比較的広いのも特徴です。

2. 訓練の質と量

訓練の量も質も追い求めようと院内

でさまざまな工夫をしています。

まず、訓練の量を確保するために、土、日祝日も通常通り個別療法を施行する週7日リハビリを実施しているほか、患者さん自身で取り組める訓練や病棟スタッフとの訓練の充実を図っています。

また、訓練の質を高めるために、療法士はチーム体制をとっており、一人の患者さんを3～4人のチーム間（主には主担当、副担当の2人）で受け持つことにより、経験の浅い療法士のフォローが日常業務の中で自然とできるようになっています。当然、多職種間でも患者さんを中心にしたチームを組んでおり、主治医、病棟、担当療法士、MSWなど関係職種間で、目的別に各種カンファレンスを施行し、情報を共有し、適宜、方針を確認しながら行っています。

3. 他施設との連携

他施設との連携も積極的に行っており、併設するリハビリテーション総合科学研究所との連携も研究面のみならず、

福祉機器を身体的特徴の著しい患者さんに個別に工夫してもらったり、介護場面で適切なアドバイスをいただいたりと実際の臨床面でも生かされています。

また兵庫医大リハビリテーション医学教室のご指導、連携を取りながら、脳卒中慢性期の患者さんを対象に短期集中訓練として、CI療法（Constraint induced movement therapy）を実施しています。



関西リハビリテーション病院は開院したばかりですが、患者さん一人ひとりに適切なリハビリ医療を提供し続けながら、地域社会に貢献できる病院を目指したいと思います。（高橋紀代）

リハビリテーション関連職種紹介

作業療法

1

昨今の資格取得ブームののってリハビリテーション関連職種も脚光を浴びていますが、今回はその1つである作業療法（OT）をご紹介します。

「リハビリテーション」と聞いて一般的に思い浮かべるのは、歩行訓練や筋力トレーニングを主とする理学療法ではないでしょうか。作業療法は理学療法と時期を同じくして日本にやってきたにも関わらず、2005年7月現在、その従事者数は理学療法士の半分に止まっています。さらに作業療法の認知度が低い理由としては「何をやっているのか分からない」、つまり治療の対象・目的、具体的内容が伝わりにくいという点があるようです。

作業療法は Occupational Therapy の日本語訳です。Occupation には「生

活」「活動」「仕事」「職業」「作業」という意味があり、作業療法の対象は「私たちが朝起きて夜寝るまでに行う全ての活動」とされています。私たち作業療法士（Occupational Therapist）はこの活動を、食事・整容・排泄など万人に共通の日常生活活動（Activities of Daily Living = “ADL”）と、公共サービス・機関の利用、就学就労・家事を含む生活関連活動（Activities of Parallel to Daily Living = “APDL”）に分け、さまざまな疾患が原因で障害を負った活動の改善を目標に、徒手や各種道具による訓練、ゲーム・手工芸、動作訓練などの作業活動を用いて治療を行っています。障害は身体障害・発達障害・精神障害・老年期障害と多岐にわたり、作業療法士は病院・施設・学校・保健所・行政機関などで活躍しています。

作業療法士になるには、高校卒業後に入学した養成校で定められた単位を修め、さらに国家試験に合格する必要があります。養成校は年々増加の一途をたどっており（2005年7月時点で141校）、このことから作業療法士の活動の場は今後も増えるものと思われる。

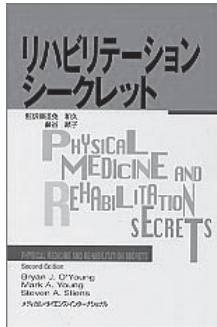
作業療法および作業療法士のことをもっと詳しくお知りになりたい方は、日本作業療法士協会のホームページ（www.jaot.or.jp）をご覧ください（都道府県作業療法士会の情報もここから入手できます）。また、一般の方向けに「オペラ（Opera）」という広報誌も協会から発行されていますので、協会にお問い合わせください。

これからは、作業療法士を見かけたら「OTさん！」と声をかけてくださいね（^^） （佐野恭子）

BGGK

**リハビリテーション
シークレット**

道免和久・藤谷順子 監訳
メディカル・サイエンス・
インターナショナル
ISBN: 4895924122
2005年5月発行
808頁、7,560円(税込)



アメリカの医学書、シークレットシリーズとは、Q & A方式で臨床に必要な知識を網羅して、研修医や臨床医に人気のシリーズです。もちろん

リハビリテーションシークレットは、コメディカルスタッフのお役にも立つでしょう。リハビリテーション医学の全領域を2,573のQ & Aで網羅・解説しています。どの部分からでも読んで知識を得ることができます。普通の教科書に書いていないような切り口が魅力の本です。(翻訳してたいへん勉強になりました。) 7,560円とちょっと高価だけれど、あらゆる疾患・障害のリハビリテーションを網羅していて、何年間も使える内容、808頁と枕にも最適です。(藤谷順子)



会員募集のご案内

皆さん、こんにちは。CRASEED事務局担当の木村幸恵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

CRASEEDでは、随時、会員を募集しています！ 治療効果が高い医療としてのリハビリ(Medical Rehabilitation)についての認識をとともに深め、全国に広める活動にあなたも参加しませんか？ また、リハビリ医療に携わっている専門職の方で、もっとリハビリを勉強し、日常業務の質を向上できたらと思っている方も、一緒に頑張ってみませんか？ CRASEED会員の中には、リハビリ科医だけでなく、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師などさまざまな専門家がおられます。CRASEEDに参加すれば、きっと専門的知識の勉強法を理解でき、具体的な疑問が解消されるだけでなく、あなたの専門性をより高められると思います。

連絡先：〒560-0054

大阪府豊中市桜の町 3-11-1
関西リハビリテーション病院内
TEL: 06-6857-9640
FAX: 06-6857-9641
Mail: office@craseed.org

CRASEEDでは、下記の3つをメインにリハビリの普及啓蒙活動を行っています。皆様はもちろん、皆様のお近くでリハビリ医療にご興味のある方にも、是非ご参加くださるよう、声をおかけください。(趣旨に賛同される一般市民の方も参加できます。)

① **リハビリ医療の普及啓蒙**

CRASEED ホームページ
会員向け会報
公開フォーラム
電話相談

② **専門的知識の普及とレベルアップ**

医療従事者対象セミナー
入門～応用コース
理論～実践コース
多施設共同研究
その他の教育研修事業

③ **リハビリ医療関連情報の提供**

CRASEEDのノウハウを駆使した情報発信
リハビリパンフレット
カルテシステム
各種情報とのリンク

特定非営利活動法人
リハビリテーション推進機構

ロゴマークの由来
(意味するもの)

CRASEEDのロゴマークは、私の友人であります(株)ワン・トゥー・テン・デザイン代表取締役：澤辺芳明氏による作品です。この会社はウェブサイト制作を専門としていますが、彼の作品は朝日デジタル広告賞で優秀作品として2002年、2003年連続で選出されています。彼がロゴマークに託したビジュアルテーマは「未来への希望の芽」です。

豆から生えた芽によって、患者が抱える精神および身体的状況を、リハビリテーションを通じて改善し、未来への希望の芽を育てる。という組織ビジョンを表し、大きく下部を支える手によって、そのサポートを行う組織であるというイメージを表現しています。豆から生えた茎がCRASEEDのSを表し、豆の光はCを表しています。そして色彩は、優しさを感じるライトグリーンを使用し、信頼感と安心感を感じられるように制作されました。

ロゴマークの依頼にあたって、彼からは「リハビリテーションの心とは何か」を問われました。今後、ロゴマークに恥じない活動を展開しなければと、心を強くしました。(眞淵 敏)

**摂食・嚥下リハビリテーション講演会
のお知らせ**



日時：2006年2月5日(日)
13時～16時50分
場所：兵庫医科大学平成記念会館
内容：

- 「脳血管障害後の摂食・嚥下リハビリテーション～症例に合わせた治療方針の選択～」
藤島一郎氏(聖隷三方原病院リハビリテーションセンター長)
- 「高齢者の摂食・嚥下リハビリテーション～リスク管理と家族指導を中心に～」
藤谷順子氏(国立国際医療センターリハビリテーション科医長)

主催：兵庫医科大学リハビリテーション医学教室、共催：NPO法人リハビリテーション医療推進機構 CRASEED
参加費：4,000円(事前振込み)
CRASEED 正会員は20%引き
CRASEED 賛助会員(法人)職員は10%引き
申込先：reha-sec@hyo-med.ac.jp

発行 NPO法人リハビリテーション医療推進機構 CRASEED
印刷 三美印刷所

種別	年会費	特典等
正会員	10,000円	CRASEED セミナー参加費の20%割引 会報無料購読 会員専用メーリングリスト(CRASEED Lounge)での各会員との情報交換
専門会員 (医師対象)	60,000円	関西、関東、両地域の関連施設での研修 CRASEED セミナー、研修会などの無料受講 専門会員用メーリングリストによる最新情報の共有
賛助会員 (法人、病院、経営者など)	一口 100,000円	会員専用メーリングリスト(CRASEED Lounge)への登録 病院・法人職員のCRASEED セミナー参加費10%割引